

あまみ 市議会だより

No.64

2022.3



祝 全国吹奏楽コンクール銀賞受賞！朝日中学校吹奏学部の皆さんおめでとうございます。

奄美・沖縄 世界自然遺産

©amami-ancc

第4回定例会

令和3年12月8日～12月27日

発行／奄美市議会
編集／奄美市議会だより編集委員会
〒894-8555
鹿児島県奄美市名瀬幸町2-5番8号
TEL：(0997) 52-1111
FAX：(0997) 52-2815
Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

奄美市議会新体制・・・・・・・・・・2～3P

第4回定例会一般質問・・・・・・・・・・4～8P

第4回定例会常任委員会の審査概要・・・・・・・・・・9P

第4回定例会の議案・・・・・・・・・・10～11P

おしらせ、あとがき・・・・・・・・・・12P



奄美市議会 新体制がスタートしました！

令和3年第4回定例会が12月8日に開催され、正・副議長、各常任委員長の選出ほか常任委員の選任などを行いました。決定した議会構成は次のとおりです。

議長



にし きみお
西 公郎

住所地：名瀬朝仁新町
会 派：自民党新政会

副議長



はしぐち こうたろう
橋口 耕太郎

住所地：名瀬長浜町
会 派：公明党

奄美市長も新体制となり、我々議会も新たな二人をお迎えしました。皆さんと共に議論を尽くし、進化する議会を目指してまいります。よろしくお願いします。

※当選あいさつより

御指名いただき、ありがとうございます。西議長をしっかりと補佐し、開かれた議会、活発な議会、そして市民に見える、見られる議会を目指して一生懸命取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

※当選あいさつより

奄美市議会 会派構成 ※届出順

無所属	自民党新政会	輝風クラブ	立憲民主党	日本共産党	チャレンジ奄美	公明党	会派他
1名	9名	2名	1名	2名	3名	4名	人数
奥輝人	元野景一 和田霜析 奥晃郎 多田義一 西公郎 伊東隆吉 竹山耕平 永田清裕 川口幸義	松山さおり 林山克巳	関誠之	崎田信正 荒田幸司	幸多拓磨 弓削洋平 正野卓矢	栄ヤスエ 与勝広 橋口耕太郎 大迫勝史	氏名

常任委員会 構成が変わりました！

議会には、常任の委員会として総務企画・文教厚生・産業建設の3つがあり、市政に関する分野を分けて担当し、調査及び議案、請願等の審査を行います。全ての議員がいずれかの委員会に属します。(◎は委員長、○は副委員長です。)

総務企画委員会

※市税などの市民部や企画・財政など総務部の分野

◎多田 義一 ○栄 ヤスエ 弓削 洋平 荒田 幸司
川口 幸義 元野 景一 竹山 耕平 西 公郎

文教厚生委員会

※健康・福祉・環境・教育・文化などに関する分野

◎崎田 信正 ○林山 克巳 幸多 拓磨 橋口 耕太郎
奥 晃郎 関 誠之 与 勝広

産業建設委員会

※都市整備・住宅・道路・上下水道・産業・観光などに関する分野

◎大迫 勝史 ○松山 さおり 永田 清裕 和田 霜析
正野 卓矢 奥 輝人 伊東 隆吉

議会運営委員会

※議会の運営に関することを決める委員会

◎伊東 隆吉 ○関 誠之 崎田 信正 正野 卓矢
栄 ヤスエ 松山 さおり 竹山 耕平



こうた たくま

幸多 拓磨

住所地：名瀬柳町

会 派：チャレンジ奄美



わだ そうせき

和田 霜析

住所地：住用町西仲間

会 派：自民党新政会

奄美市議会議員補欠選挙
にて2名の議員が無投票
当選となりました。
11月15日、当選証書付与
式が執り行われました。

新人議員の紹介

第4回定例会 一般質問

市政を問う

12月9日、10日、13日の3日間で13名の議員が市政全般にわたり施策の状況や方針などについて、市当局に問い質しました。要約をご紹介します。

※下記の二次元バーコードを、スマートフォン等のバーコードリーダーで読み取るか、奄美市議会ホームページで一般質問の録画中継がご覧いただけます。

12月9日

- 1 正野 卓矢
- 2 林山 克巳
- 3 和田 霜析
- 4 橋口耕太郎
- 5 幸多 拓磨

12月10日

- 1 川口 幸義
- 2 崎田 信正
- 3 栄 ヤスエ
- 4 永田 清裕

12月13日

- 1 荒田 幸司
- 2 関 誠之
- 3 竹山 耕平
- 4 奥 輝人



←動画配信

はこちら

新市長の描く奄美市の未来像について

未来像について



正野 卓矢
(チャレンジ奄美)

問 奄美市の未来像について

答 「明るくやさしく風通しの良い 未来都市・奄美市」のビジョンのもと、かせぐ力の向上、市民サービスの向上、生きがいや働きがい、お互いに切磋琢磨しながら幸せを実感できる為に常に対話をし、共に汗をかく姿勢で全力を尽くしたい。

問 マラエスト「かせぐ力」について

答 民間・行政問わず、観光・物産に係わる者が、日々進化する情報技術の研究を重ね、互いに連携する事で相乗効果を生みだしていく必要がある。

問 「ヤン割」について

答 ヤング割引は若年層の投票率向上を目的としたキャンペーン。法を遵守しながら関係機関と連携を図っていききたい。



『市長が目指す奄美市の未来像』について

未来像について



林山 克巳
(輝風クラブ)

問 コロナ禍における世界自然遺産・デジタル戦略・自衛隊駐屯地の役割の取り組みについて

答 世界自然遺産は、最重要施策の一つであり、環境の保全と次世代への継承、新型コロナウイルスへの感染対策を講じた上での持続可能な利用による地域経済への波及を実現していく。デジタル戦略においては、ソサエティ5.0時代に対応した「未来都市」を目指し、あらゆる分野においてデジタル技術の恩恵をより多くの方々に実感いただける取り組みを進めると同時に心と心が通じ合う、あたたかみのあるデジタル社会の構築に努めている。自衛隊奄美駐屯地は、我が国の平和と安全の確保はもとより、台風常襲地帯であり、防災面においても市民の皆様への安心の基礎となっており、

連携・協力しながら地域づくりに取り組んでいく。

問 ワクチン接種と経済活動について（感染防止対策含む）

答 水際対策は重要であり、検査業務の継続、PCR検査体制の充実、ワクチン未接種者の検査体制の構築に県・奄美大島5市町村と協議を行う必要があると考えている。

問 デジタル化に向けた取り組みについて（国民健康保険証運用）

答 マイナンバーカード発行率は12か月ほどかかり、11月21日現在の本市交付実績は、1万8,806人、44・12%（鹿児島県37・19%、全国39・61%）健康保険証運用可能医療機関は8か所。

【その他の質問】

・ワクチン接種証明書の活用について

・デジタル化について（教育行政オンライン化・デジタル地域通貨）
・国民健康保険制度の現状について

世界自然遺産について



和田 霜析
(自民党新国会)

問 環境保全について

答 登録の際に世界遺産委員会からの対応要請事項として、「観光管理」、「ロードリル対策」、「河川再生」、「森林管理」の4つが示されている。これらの課題への対応については、令和4年12月までにユネスコ世界遺産センターへ報告が求められていることから、今後、関係機関等で構成する「要請事項タスクフォース」を立ち上げ、必要な対応を行っていく。

問 盗掘・盗採対策について

答 奄美大島自然保護協議会において平日の日中に、環境省においても休日や夜間にパトロールを行っているほか、関係機関合同で定期的にパトロールを実施している。また、自然保護協議会にてセンサーカメラ及び啓発看板を島内各所に設置してい



▲盗掘パトロールの様子

問 ナイトツアー三太郎線について

答 夜間の動物観察時の利用ルールをつくり、10月29日から試行を開始している。11月20日から22日の3日間、現地立ち合い調査を行った。期間を通して、48台の利用があり、未予約については、現地において、その場で予約を行ったのが4台、利用を自粛した未予約者は3台である。

【その他の質問事項】

- ・奄美市総合計画について
- ・カーボンニュートラルについて

市長の政治姿勢 (インタビューから)



橋口 耕太郎
(公明党)

問 「積極的に見直したいのは情報発信・情報公開」とあった。具体的なプランは。

答 「情報発信・情報公開」は、島外向けには業界団体や情報通信業者と連携しながらインターネット上の拡散メディア掲載に繋がる発信を行う。住民向けには、定例記者会見など新たな取組を通じた報道機関との積極的な連携・関係構築を図るなど、ターゲットに応じてより効果的な発信の手法を検討する。

問 健康寿命について、奄美は長寿の島と言われるが実際の平均寿命・健康寿命(平均自立期間)の数値はいかがか。

答 数値は下記表のとおり。

	平均寿命		健康寿命 (平均自立期間)	
	男性	女性	男性	女性
奄美市	78.4歳	86.1歳	77.4歳	83.6歳
鹿児島県	80.0歳	86.8歳	79.1歳	84.0歳
全国	80.8歳	87.0歳	79.8歳	84.0歳

※平均自立期間 日常生活動作(ADL)が自立している期間

問 本市の課題とその対策は

答 死亡要因別では、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の順となっている。特に脳血管疾患は、名瀬保健所管内の共通課題として取り組んでいる。民間の事業所や関係機関と連携を図り「ローリー(どうくさがイ番)プロジェクト」を立ち上げ、若い世代から健康づくりに目を向けてもらうようイベントや健康講話、食育教室に取り組んでいる。

【その他の質問】

- ・3回目のワクチン接種事業について
- ・学校の存続と不登校児童生徒について
- ・移住相談会について

公共施設の修繕 屋仁川通り道路事情について



幸多 拓磨
(チャレンジ奄美)

問 市営住宅のポスト・呼び鈴・避難通路の修繕について

答 ポストや呼び鈴の個別修繕については、建築住宅課に連絡を頂いたら現場確認の上、大工や専門業者等に依頼し、早急な対応に努めている。避難通路(避難ハッチ)の改修については、外壁落下防止工事などに併せて計画的に実施していきたい。

問 屋仁川通り道路事情について。屋仁川通りにおいて、逆走が多く起きており危険。表示の明確化について

答 路面標示につきましては、今後、逆走解消に向け、交通管理者と現場立ち合いの上、適切な対応について協議して参りたい。

問 奄美市のSDGsへの取り組みについて。SDGsへ取り組みんでいる団体や企業へ、表彰や認定証をお

渡しするはどうか。

答 SDGsへ取り組んでいる団体・企業等への認定証や表彰については、自治体だけでなく、皆様の取り組みが大変重要と認識している。認定証や表彰も含め、行政としての様な関わり方が企業や団体・市民の皆様による持続可能な社会の後押しになるか、他自治体の取り組みを参考にしながら研究をして参りたい。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



市長の政治姿勢について



川口 幸義
(自民党新政会)

問 新型コロナウイルスと変異株オミクロン株対策について

答 本市において、10月2日の発表以降、新規感染者は確認されておらず、全国・県においても新規感染者数は低い水準で推移している。(令和3年12月末時点) 年末年始にかけて感染の第6波の到来の可能性が指摘されており、新たな変異株のオミクロン株による感染者が世界で増加し、感染拡大が懸念されている中、感染拡大防止の対策をしっかりと継続していくことが重要。第6波に備えては奄美大島に2つ目となる宿泊療養施設の確保も行われ、スムーズな入院入所につながるかと考えている。

問 断らない福祉相談窓口を各地に開設について

答 国の施策として示され

市長の政治信条にある「弱きもの」とはなにか



嶋田 信正
(日本共産党)

問 市長が政治信条とする「政治とは弱きものを助けるためにある」の「弱きもの」とは具体的に何か

答 一般的に「社会的弱者」とされる方また、複雑な社会経済システムにおいて「強きもの」「弱きもの」は複雑に入れ替わり、一定化されるものではないと考える。

問 新聞紙上で示された「断らない福祉相談窓口」に期待する声がある。その内容について。

答 国が推奨する「重層的支援体制整備事業」を活用して実施する。現段階では、本事業の実施について検討している状態であり、具体的な構想について示せる状況にない。

問 「断らない行政」の内容は

答 市民サービスを第一に

民間企業・団体や市民の相談をしっかりと行うこと。市民の抱える問題について頼れる相談相手として解決に向け取り組む姿勢と考えている。

問 平成30年度から運営が都道府県単位となった国民健康保険制度の課題は何か

答 主には2つであり、1つは医療費の増加。県全体の医療費の増加は、県へ納める事業費納付金の増加に繋がり、奄美市の国保税の増税に繋がる懸念がある。2つ目は、保険料水準の統て、本市の1人当たりの保険料必要額は県内他市よりも低い。単純に県内の市町村において1人当たり保険料の平準化は奄美市の国保税増税に繋がる。

問 国の科学的介護とは

答 介護は「科学的根拠に裏付けられたサービスが実施されていない」との指摘があり今年度からデータに基づく介護を目指す。

福祉政策、市民生活について



栄 ヤスエ
(公明党)

問 重層的支援体制整備事業について

答 奄美市地域福祉計画には明記しているが、今後は先進地を参考にし、高齢者福祉施策の「地域支えあい事業」などを活用し、地域の実状に見合った「断らない相談支援」「参加支援」「地域づくり支援」を検討する。

問 低出生体重児について

左記表のとおり。

年度	人数	割合
H29	43人	12.6%
H30	43人	13.9%
R1	32人	11.7%

問 住用・笠利地区の子育て環境整備

答 住用地区においては令和4年度に基本構想策定委員会を開催する。笠利地区にて新設する認定こども園は、利用児童数百名程度の規模施設、既存の2保育所を活用し、3

力所の認定こども園として集約する方向で検討。早期供用開始に努力する。

問 国からの子宮頸がんワクチン接種の積極的勧奨が令和4年4月1日より再開することの通知を受け、本市の対応について

答 令和4年度から対象者へ予診票の個別送付の準備を進めている。

子宮頸がんワクチン接種者

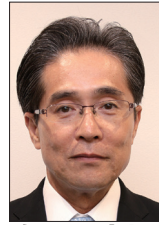
年度	人数	割合
R1	※通知未実施	
R2	14人	24%
R3	14人	26%

問 女性に配慮したAEDについて

答 救急講習では、AEDパッドを装着する際、素肌直接貼り付けることができたら、衣服の下で下着をすらすら貼るよう指導。今後設置事業所には女性に配慮する布やリフレット等設置をお願いしていく。

【その他の質問】
・リトルベビーハンドブックについて

市長の政治姿勢について



永田 清裕
(自民党新政会)

問 市長としての抱負

答 平田元市長、朝山前市長により築いてこられた行財政基盤をより強固なものとしながら積極的な施策の展開に努めていく。新型コロナウイルスからの経済回復が最大の課題と考えており、観光を中心に様々な施策を展開していく。併せて本市独自の支援・低所得者対策も検討する。

問 福祉の窓口設置は

答 「断らない、命と福祉の相談窓口」は設置するのではなく、現在の各部署にある既存の相談窓口を活かしつつ、「地域共生社会」を目指す。

問 観光振興について

答 10月に入り主要都市で「奄美群島旅行説明会」を実施し、世界自然遺産登録を受けて奄美の魅力を活分に伝え、好感触を得た。今後も観光は民間が主役との認識の下、世



界自然遺産登録効果を最大限に活かし、持続可能な奄美観光の構築に向けて民間事業者のさらなる取り組み強化につながるよう努める。

問 名瀬地区の保育所整備について

答 小浜保育所は築49年経過し、老朽化に伴う建物の安全性を不安視する保護者の声がある。令和4年度に整備検討委員会を設置する。併せて議員の皆様と現場視察を行う。

【その他の質問】

・「コロナ対策円卓会議」について

・フクチン接種

・Wii-Fit環境の整備

・民間との連携

市長の政治姿勢 (マニフェスト) について



荒田 幸司
(日本共産党)

問 「未来都市」の概念

答 新しい知恵や情報、技術を最大限活用し、地域社会の課題を解決できるよう取組んでいるまち、子どもや若い世代が奄美に愛着を持ち人材が着実に育っていくまち、このようなまちの姿を「未来都市」という一言に込めた。

問 市独自の直接支援は

答 新型コロナウイルスから地域経済を守るため、経済団体等の意見も踏まえながら時期を逸することなく下支えできるよう努める。

問 幼児教育・保育、副食費の無料化は

答 副食費を無料化することについては、他の施設とのバランスを考慮する必要もあることから検討課題としたい。

問 小中学生の本土遠征への支援充実

答 県内外を問わず同じ



境遇にある離島市町村の状況を調査しつつ、基金の創設も含め保護者の負担軽減について検討する。

問 高齢者のバス料金無料化

答 交通弱者対策として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくりを、様々な角度から検討していく。

【その他の質問事項】

◎安全保障

・陸自奄美駐屯地

・国の「専権事項」

・「憲法九条」

◎PCR検査拡充

◎食と農の総合戦略

◎「かせげる農業」食の安全は

◎「かせげる漁業」施策

市長の政治姿勢と 公約の推進について



関 誠之
(立憲民主党)

問 市長の選挙公約88項目を実現する条件は

答 職員とともにワンチームで頑張り、市役所が市民の身近な存在となり、頼れる相談相手となること。

問 奄美市の経済状況の認識と今後の施策、施策を推進するための具体策を

答 人口減少は全国的傾向である。本市の定住促進施策により人口減少の鈍化につながっている。国調の確定値は4万1390人である。経済状況は、市税は今回補正予算で2億7,800万円増額し、40億617万1千円となり、今年度も40億円を超える見通しである。産業振興の柱である農業、観光・交流、情報産業を奄美群島全体で取り組むことで幅広い産業への波及効果を期待する。

問 奄美市総合計画の未策定について

答 奄美大島5市町村や群島全体で策定計画、県や国が策定する計画を含めて計画体系の整理を進めている。議会の議決事項となっていることは真摯に受け止めている。

問 奄美振興特別措置法延長への取組み

答 奄美群島新ビジョン懇話会で独自性や素晴らしさを発揮できる施策、沖縄・離振法の拡充部分の取入れ、産官学金の連携などが議論されている。

【その他の質問】

・離島急患搬送の維持

・市民交流センターのWii-Fit等の現状



▲市民交流センター

「コロナ禍のなか 子どもたちを応援する」



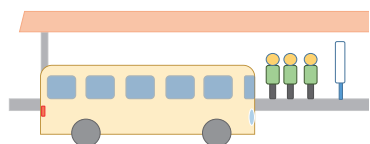
竹山 耕平
(自民党新国会)

問 コロナ経済対策事業
①子どもたちの元気活動
応援事業について

答 11月末で交付決定数
46件、予定額で359万
8,837円。学校関係
で9件、その他の申請に
PTA含む社会教育団体
6件、スポーツ少年団や
部活動等31件など様々な
団体が活用。補助金を活
用することで内容を充実
させて活動できたと声も
頂いている。年度末まで
に予算の執行を見込む。

問 ②島外学生応援事業
について

答 世帯収入やアルバイト収
入減少など学びの継続が
困難な島外学生を経済的
に支援することが目的。
「3万円の大きな金額はあ
りがたい。看護師の資格
を習得し大好きな奄美大
島で働きたい」「今頑張
れているのも島の方々の存
在のお陰。早く島の力に



なりたい気持ちでいつば
い」などの声も頂いてい
る。

問 (仮称)バスターミナ
ルビル事業計画(測候所
跡地予定)について

答 令和元年度にPFI事
業手法による整備と運営
の可能性調査を実施、調査
結果ではバスセンター単
独案、店舗・宿泊施設の
複合案など用地取得方法
や事業手法の可能性が取
りまとめられた。結果を
もとに国との意見交換会
を実施している。社会情
勢等踏まえ必要な事業の
在り方を検討する。

新市長として向こう 4年間への抱負について



奥 輝人
(無所属)

問 新市長として、向こう
4年間への奄美市への抱
負について

答 まずは、新型「コロナ対
策」について、感染防止対
策に努めながら、観光を
中心に「コロナ禍以前の経
済環境を取り戻すことが
肝要である。同時に、持
続可能に「かせぐ」地域
づくりに着実に取り組み、
地域経済を活性化し地域
内生産額を高め、市民所
得の向上を目指していく。
私自身の考えを職員にも
浸透させ、常に職場環境
を改善し、市民サービス
を最優先とする市役所の
風土づくりに職員ととも
に汗をかき、88の項目(公
約)を実現できる様、一歩
一歩取り組みを進めてい
く。

問 トップセールスマンと
しての抱負について

答 物産をはじめとする
「奄美市」そのものを売り

込む事で人と投資を呼び
込みたい。その決意を持っ
て積極的にトップセール
スを行っていく。その為
には、SNSや動画配信
など新しい手法を導入し、
報道機関との連携、ご理
解・ご協力をいただきな
がら、「見える活動」を展
開していく。

問 農業振興で、女性向け
担い手の育成について

答 現在、農業研修セン
ターに2名と、これまで
2名が新規就農している。
女性の能力が発揮できる
様に農業技術の習得に、
支援を引き続き努めてい
く。



奄美市議会議員研修会

奄美市議会では毎年議員研修会を行って
おり、議員の資質の向上に努めています。
令和3年度は11月22日に市役所第一委
員会室にて開催しました。講師には大島
支庁長 印南 百合子氏をお招きし、「誰一
人取り残さない持続可能な社会へ～男女
共同参画、SDGs 及び世界自然遺産の視点
から～」というテーマで講話いただきました。

奄美市議会 議員研修会



第4回定例会 常任委員会 審査概要

12月16日 文教厚生委員会
12月17日 産業建設委員会
12月20日 総務企画委員会

上記の日程で議案について審査しました。
委員会の審査について一部ご紹介します。

文教厚生委員会

令和3年度奄美市一般会計補正予算
(第6号)

問 新型コロナウイルス感染症拡大時期に予定されていた検診について

答 子宮がん検診については、追加検診を要望しているが県内他市町村も同様で日程調整ができていない。その他がん検診は、1月の追加検診に向け準備を進めている。

問 新型コロナウイルス3回目接種について

答 製薬会社が違うワクチンの交互接種の安全性などについて国県から情報が届いていないが、正しい情報を住民に示し接種体制を整えていきたい。

指定管理者の指定について

問 公募しない理由は。

答 利用者の満足度を高め、施設の安定的な管理運営が重要であるため、優良な指定管理者に引き続き管理運営をしてもらうため更新時インセンティブの付与を適用する。

【議員からの主な意見】

・公募しないなどの変更がある場合は事前に周知を。
・どのように評価してインセンティブ制度を適用したのかわかりやすく示すことが必要。

産業建設委員会

奄美大島選果場利用促進助成金

2,626千円

問 助成金の詳細について。また、この選果場は奄美大島5市町村で運営しているが、他町村では助成金があるのか。

答 選果手数料がキロ当たり26円となっているが、選果機を通して良品以上のものの選果手数料を助成する。他町村の助成については、既に宇検村が行っており、龍郷町は9月議会で承認を得ている。奄美市、大和村、瀬戸内町は2月出荷分からの助成ということで調整を行っている。

新型コロナウイルス感染症対策時短要請協力金
町村負担分 63,000千円

問 今後のことを踏まえ、協力金を支給した業種や件数等を把握する必要があると思うが。

答 支給に関しては県の方で行っており、法人個人の件数は把握している。県の方に確認を行った上で、今後把握する方法が無いかを検討したい。

指定管理者の指定について

問 更新時インセンティブ制度について説明を。

答 前回の公募により指定管理者を選定した施設について、運営実績、市民アンケート、行革委員会の意見、行政の評価等を総合的に勘案し優良と認められる場合、1回に限り現行の指定管理者を引き続き候補者として選定するもの。

総務企画委員会

令和3年度奄美市一般会計補正予算
(第6号)

問 市税が当初見込みより増えたことについて。

答 本年度の課税対象となる令和2年の給与所得は、対前年比24億円程度増加した。給与から差し引かれる税額の業種別集計では、建設業、医療福祉業、情報通信業などで増加。卸売小売業、金融保険業、宿泊飲食サービス業、運輸業などで減少している。

奄美市地と知の交流拠点施設の指定管理者の指定について

問 施設の状況について

答 コロナ禍ということもあり、積極的な交流が図れないが、知恵の交流として「おもちゃドクター」の教室などが行われた。

問 受付業務に対する課題について

答 鍵の受渡し・申請を地区内のスーパーに協力してもらい、特定の方への負担を軽減した。より良い運営に努められるよう今後も協議を図りたい。

沖縄・辺野古新基地づくりのために奄美市からの土砂搬出反対を求める陳情▼不採択

【議員からの主な意見】

・自然をしっかりと守るため、必要最小限の土砂の採取に限るべき。
・搬出が想定であることや、法律に基づいて事業をしている業者の搬出について採決することに疑問がある。

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
議案 第101号	監査委員の選任について	同意	本会議
議案 第102号	教育委員会委員の選任について	同意	本会議

請願・陳情の状況

受理番号	件名	提出者	議決結果	付託委員会
陳情 第6号	住用町市郵便局前の市道の補修に関する陳情	住用町市集落 区長 森 紘道	採択	産業建設
陳情 第7号	「インボイス制度実施中止を求める意見書」の採択を求める陳情	奄美民主商工会 会長 濱田 幸造	継続審査	産業建設
陳情 第8号	沖縄・辺野古新基地づくりのために奄美市からの土砂搬出反対を求める陳情	戦争のための自衛 隊配備に反対する 奄美ネット 代表 城村 典文	不採択	総務企画

■前定例会からの継続審査

受理番号	件名	提出者	議決結果	付託委員会
陳情 第3号	奄美市住用町市湾の沿岸に堆積している土砂の撤去に関する陳情書	住用町市集落 区長 森 紘道	継続審査	産業建設

賛否が分かれた案件

議案番号・件名	議員名（議席番号順）																	【○賛成数】	【●反対数】					
	幸多拓磨	弓削洋平	永田清裕	和田霜析	荒田幸司	崎田信正	正野卓矢	橋口耕太郎	栄ヤス工	大迫勝史	奥晃郎	林山克巳	松山さおり	関誠之	奥輝人	川口幸義	伊東隆吉			元野景一	与勝広	竹山耕平	西公郎	多田義一
陳情第8号 沖縄・辺野古新基地づくりのために奄美市からの土砂搬出反対を求める陳情	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	欠席	●	●	—	●	3	17

賛否が分かれた案件を議員ごとに掲載しています。（○は賛成・●は反対）

※西公郎議員は議長職の為、表決権はありません。

第4回定例会の議案

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
議案 第80号	令和3年度奄美市一般会計補正予算（第5号）について	原案 可決	本会議
議案 第81号	令和3年度奄美市一般会計補正予算（第6号）について	原案 可決	全委員会
議案 第82号	令和3年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算（第3号）について	原案 可決	文教厚生
議案 第83号	令和3年度奄美市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	原案 可決	文教厚生
議案 第84号	令和3年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）について	原案 可決	文教厚生
議案 第85号	令和3年度奄美市水道事業会計補正予算（第2号）について	原案 可決	産業建設
議案 第86号	奄美市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案 可決	文教厚生
議案 第87号	奄美市下水道事業運営調査会条例の制定について	原案 可決	産業建設
議案 第88号	奄美市地と知の交流拠点施設の指定管理者の指定について	原案 可決	総務企画
議案 第89号	奄美市軽費老人ホーム奄美市立たかもり寮の指定管理者の指定について	原案 可決	文教厚生
議案 第90号	奄美市名瀬運動公園、奄美市名瀬総合体育館及び奄美市名瀬古見方多目的広場の指定管理者の指定について	原案 可決	文教厚生
議案 第91号	太陽が丘総合運動公園、奄美市笠利B＆G海洋センター及び奄美市笠利農村環境改善センターの指定管理者の指定について	原案 可決	文教厚生
議案 第92号	あやまる岬観光公園の指定管理者の指定について	原案 可決	産業建設
議案 第93号	奄美市内海公園の指定管理者の指定について	原案 可決	産業建設
議案 第94号	奄美市バンガロー施設の指定管理者の指定について	原案 可決	産業建設
議案 第95号	黒潮の森マングローブパークの指定管理者の指定について	原案 可決	産業建設
議案 第96号	奄美市ひと・もの交流プラザの指定管理者の指定について	原案 可決	産業建設
議案 第97号	奄美市健康体験交流施設の指定管理者の指定について	原案 可決	産業建設
議案 第98号	奄美市奄美大島選果場の指定管理者の指定について	原案 可決	産業建設
議案 第99号	奄美市都市公園の指定管理者の指定について	原案 可決	産業建設
議案 第100号	奄美市屋仁川駐車場の指定管理者の指定について	原案 可決	産業建設

議会の動き

【11月】

- 1日 議会だより編集委員会
- 4日 議会運営委員会
- 9日 第39回離島振興市町村議会
議長会全国大会
(オンライン参加)
- 10日 瀬戸内町文教厚生委員所管事務
調査
- 11日 奄美群島広域事務組合議会
- 15日 全国過疎地域連盟第52回定期
総会・新人議員説明会
- 19日 議会運営委員会・全員協議会
会派代表者会
- 22日 議員研修会
- 30日 市長退任セレモニー

【12月】

- 2日 一般質問通告
- 3日 議会運営委員会
- 8日 第4回定例会開会・全員協議会
- 9日 一般質問
- 10日 一般質問・全員協議会
- 13日 一般質問
- 15日 本会議・全員協議会
- 16日 文教厚生委員会
- 17日 産業建設委員会
- 19日 奄美博物館企画展
- 20日 総務企画委員会
- 23日 議会運営委員会
- 25日 復帰記念の集い
- 27日 朝日中学校吹奏学部議場コン
サート・最終本会議
全員協議会

【令和4年1月】

- 3日 住用地区・笠利地区・名瀬地区
成人式
- 17日 議会運営委員会・会派代表者会

市議会だより 編集委員会



【委員】

多田 義一
与 勝広
関 誠之
林 山 克巳
幸多 拓磨

【副委員長】

和田 霜析

【委員長】

荒田 幸司

第1回定例会の予定

2

February

2022

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15 開会	16	17 常任委員会	18	19
20	21 常任 委員会	22 本会議	23	24	25	26
27	28	1	2	3	4	5

3

March

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
27	28	1	2	3 一般質問	4	5
6	7 一般質問	8	9 本会議	10 予算特別委員会	11	12
13	14 予算特別 委員会	15	16 予算特別 委員会	17	18	19
20	21	22	23	24	25 本会議	26
27	28	29	30	31	1	2

編集あとがき

市民の皆様、こんにちは。昨年の12月より、「奄美市議会だより」編集委員会は、7名の新しい体制でスタートしました。ご存じのように、市議会だよりは年4回開催される定例会及び臨時議会の内容を市民の皆さまにお伝えすることを目的に年4回発行されています。市議会の状況をお伝えするという目的を達成するためには、お配りした市議会だよりをお読みいただくことが重要です。そのため、市民の皆さまの目線に立って、読みやすく、議会をより身近に感じられる内容などの工夫がさらに必要なのは言うまでもありません。委員一同、そのためにも力を尽くしてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

さて、新市長を迎え、補欠選挙で当選した2名の議員も加わった2021年第4回定例会が開催されました。議会の期間は、12月8日(水)～12月27日(月)の20日間でした。議案は、補正予算および指定管理に関する内容等を中心とした23件が上程され、全体的に議案が全会一致で可決されました。また、陳情4件について審査が行われ、採択1件、不採択1件、継続審査2件となりました。また、一般質問は、13名の議員が市政全般にわたる当局に質しました。詳細は、ページをめくってお目通しください。

【荒田 幸司】